

児童生徒の作文に学ぶ

「スマイルフェスタ八女2022」より

12月10日(土)、おこなす八女にて八女市人権フェスタ実行委員会主催による「スマイルフェスタ八女2022」が開催され、八女市立学校代表の児童生徒が人権に関する思いをつづった作文を発表しました。その一遍を紹介いたします。

個性を生かす

筑南中学校3年 朽網杏織さん

みなさんは、平均を気にしますか。私はテストの結果などで、平均点をよく気にします。それは平均点より上をいくと自分より下の人がたくさんいるということになるので平均点に達していれば自分が安心するからです。私は常に自分と他人を比べています。人より上だという安心感や優越感を味わいたいという気持ちと共に、人より下だという劣等感を味わいたくないという気持ちがそうさせているのだと思います。

私が一年生のときのテストで数学が他の教科より大幅に低い点数だったことがあります。そのとき、数学だけ平均点より下だったねと言われたことがあります。どうして全教科平均点以上の点数を取らないといけないのでしょうか。もちろん苦手なものを克服することも

大事ですが得意なものを伸ばすことも大事だと思います。それがその人の特性となり、その人の個性になっていくと考えるからです。

個性とはその人特有の性質、性格のことです。個性がある、人よりも得意なことがあるというのは自分の大きな武器になります。しかしその違いの差により、目立ってしまふと周りから浮いた存在になり白い目で見られることもあります。周りの人よりこだわりが強かったり、集中しすぎて周りのことがみえなくなったりする人などもあると思います。それが原因で「あの人も変ね」と言われる人達がいるという現実があります。周りとは大きく違う行動をする人を見て私達はどう感じるのでしょうか。自分の中に「普通」という概念をもっている私達は「普通」の枠をはみ出して行動している人達を受け入れることが難しいと思います。行動の理由や目的が理解できないと、

変な人だなと感じその人と関わらないでおこうと思ったり避けたりする人もいると思います。このようになかなか人に理解されず敬遠される人もいれば、逆に多くの人から好かれ受け入れられる人気者になる人もいます。

この差は何でしょうか。同じ「個性」なのに何が違うのでしょうか。それは受け取る側の感じ方や考え方が一つで変わってくるのだと思います。障がい者差別も同じことが言えるのではないのでしょうか。障がいを持っている人はその特性から理解されなかったり迷惑がられてしまうこともあります。しかし、障がいというのはその人が持った個性なのです。

このように、人の個性というのは受け取る側の考え方が一つで理解してもらえないか、理解してもらえないかが変わってきます。周りや自分を比べた時、自分が持つ「普通」の概念で人を評価するのではなくその人の個性を認めて受け入れることが大切です。

「みんな違ってみんないい」という金子みすずさんの詩のように一人一人の個性は違うのです。私は、世界中の人達がそれぞれの個性を生かすことができる社会を目指して、いろいろな人の個性を認め、受け入れられる人になりたいです。

「人権を大切にすること」を呼びかけ

12月2日(金)、人権週間(12月4日~10日)を前に、Aコープ八女店、ゆめタウン八女店、アスタラビスタ黒木店の3か所で行った街頭啓発を実施しました。市長をはじめ、市議会、人権擁護委員、法務局などの行政機関、市民団体が参加し、店舗を訪れたお客さんへ啓発物品を配りながら、人権週間の周知と人権尊重思想の普及高揚を呼びかけました。

◀ 街頭啓発の様子



公平委員会制度 70 周年 記念総務大臣表彰伝達式

11月1日(火)、廣津洋吉さんへ公平委員会制度70周年記念総務大臣表彰の伝達式を行いました。これは、多年にわたり公平委員会委員として公正な人事行政の確立に尽力した人に対して送られる表彰です。廣津さんは、平成23年度に八女市公平委員会委員に就任し、平成29年度からは同委員会の委員長を務め、本市の人事行政に大変重要な役割を担っています。



民生委員児童委員に 感謝状、委嘱状を伝達

12月4日(日)、おりなす八女で民生委員児童委員感謝状、委嘱状伝達式を開催しました。3年ごとに行われる一斉改選に伴い、退任した皆さんに感謝状を、新たに委嘱された委員に厚生労働大臣からの委嘱状を三田村市長が渡しました。

民生委員児童委員は、地域の実情に詳しく福祉活動に理解のある人が地域で推薦され、厚生労働大臣から委嘱されます。民生委員児童委員は任期3年間の非常勤公務員で、地域の身近な相談役としてさまざまな福祉活動をします。

式典では、三田村市長が「地域の人たちが孤立せずに生活を送るためには、市民の皆さん一人一人の連携が不可欠であり、民生委員児童委員の皆さまにもお力添えいただくようお願いします」とあいさつしました。



スマイルフェスタ八女 2022 の様子



▲ステージ上で発表する堀川さん
八女市立学校児童生徒人権作文発表
発表者=長峰小学校6年 堀川佳歩さん、
筑南中学校3年 朽網杏織さん



人権講演会

ノンフィクションライター・安田浩一さんによる
講演「抵抗者たち～差別と闘ったアスリート～」



人権啓発パネル展

児童生徒制作ポスターや人権のまちづくりに取り組む団体紹介などを展示